

## 東北関東大震災へのお見舞いを申し上げます！

今年の春は例年と違い、なんとも心寂しく落ち着かない春です。3月11日のマグニチュード9という未曾有の関東・東北大地震、引き続いて生じた大津波、さらに福島第一原発の放射の漏れ事故。今、突然に起こったこの悲惨な三重苦を前に、プレイスのスタッフも利用者の方々もたじろいでいるのが現状です。

中には親戚縁者が被災されて救助の手を差し伸べている方、自衛官の夫を被災地救援に送り出している家族、出産を控えて安全な地へと移っていった親子など、さまざまな状況が生じています。プレイスでは、計画停電をにらみつつも、出来るだけ平常通りの落ち着いたたまり場でありたいと考えています。

## 卒所記念製作

今年は紙版画を作りました。入園を前にしてハサミの持ち方の練習。チョーキン、チョーキン、チョキン…と子ども達はたくさん、たくさん切ってくれました。

次に、それをお母さんが台紙に貼り付けて、ひとつの“作品”に仕上げます。そして後日それに親子で版画インクをつけて版画用紙に写します。

“オーッ” “ワーッ” “アーッ” こうなるんだー” “スキキ！！” …その歓声も作品のひとつです。——子どもの切り紙——ゴミと言えはそれだけのものなのですが、とっても、とってもステキな作品になりました。お母さんのいっぱい愛情を受けて…。

(プレイス入り口に写真にしてあります。ご覧ください。)



## 3回目の春を迎えます

子育てプレイス奥富は、ようやく3回目の春を、奥富の地で迎えます。奥富小学校の桜、プレイスの花壇の色とりどりのパンジー、学校園のジャガイモの植え付け…と春は何事もなかったかのように確実に訪れています。やがて桜花は満開となり、新芽も萌え出るようになるでしょう。しかし被災地の人々が当たり前の暮らしを取り戻すまでに、どれほどの歳月と努力とを要するでしょうか？ 皆さまと協力し合って、母子支援に心を砕きたいと思います。

4月には、子育て支援ネットワーク事業の中で生まれた支援団体紹介冊子、「**お子さんと一緒に子育て広場へ行こうー狭山市にある子育て支援団体とその活動場所ー**」を配布できる段取りになりました。支援団体の皆さま、力を合わせて、子育て中の家庭にこの冊子を届けていきましょう！！

## ゆっくり・ゆったり・ピラティス

昨年に引き続いてのピラティス。当日は、地震の余震もあり、開催を迷いましたが、連絡の都合もあり、開催に踏み切りました。キャンセルが相つぐ次ぐ中、6組の親子の参加があり、たっぷり1時間20分ほど、



ピラティスと親子体操を楽しみました。身体が“かるくなったーア” “気持ちいい！”と満足そうな顔・顔・顔。約束通り開催した甲斐はあったようです。これらの言葉をおみやげに、講師の先生をとにかく動いている電車にお乗せして事なきを得たピラティス講習会でした。

